

令和2年度 立山町社会福祉協議会事業報告

現在の日本では、超高齢社会がさらに進むと言われる2025年に向けて、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されることが求められています。

このような状況の中、立山町社会福祉協議会は第3次立山町地域福祉活動計画(2018～2022年度)に基づき、“誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指し”町の「立山町地域福祉計画」との連携を図りながら、地域福祉の拠点として高齢福祉、障害者福祉、児童福祉それぞれの分野で事業を進めてきました。

そして、「地域福祉活動を推進するための組織強化」として、「立山町社会福祉法人連絡会」を発足し、法人間の連携強化と、協働による地域公益活動に取り組んでいます。

また、地域の福祉力の底上げを目指し、「ふれあい活動事業」と「ケアネット事業」を総合的に取り入れ、高齢者から子育てまで幅広く互いに協力しながら、住みよいまちづくりを進めてきました。

さらに、地域の福祉力向上の手段であるボランティア活動の推進については、情報の発信に努めると共に、将来を担う子ども達の福祉理解を広めて福祉教育を推進するため、「福祉教育サポーター」の養成確保に努めているところです。

令和2年度も地域住民の活動拠点として、町民の多様な福祉ニーズを的確にとらえ、互いに自立し、関係機関との連携や協働により、① 地域福祉活動推進 ② 在宅福祉サービスの推進 ③ 総合的な相談援助 ④ ボランティア活動の推進 ⑤ 福祉教育の推進 ⑥ 高齢者福祉事業の推進 ⑦ 日常生活自立支援事業の推進 ⑧ 出逢い応援事業、を積極的に展開してきました。

主な事業等の取り組みについては、次のとおりです。

1. 法人運営事業・その他の事業

(1) 法人運営、役員活動事業

5月	令和2年度会計監査	5月11日	元気交流ステーション
5月	理事会	5月28日	文書審議
5月	評議員選任・解任委員会	5月28日	〃
6月	評議員会	6月15日	〃
8月	理事会	9月1日	元気交流ステーション
9月	評議員選任・解任委員会	9月3日	文書審議
12月	理事会	12月11日	元気交流ステーション
12月	評議員会	12月17日	元気交流ステーション
3月	理事会	3月15日	〃
3月	評議員会	3月22日	〃
3月	評議員選任・解任委員会	3月22日	文書審議

(2) 共同募金活動、日赤事業、立山善意銀行事務、町遺族会事務

(3) 社会福祉協議会ホームページの開設、運営

ページビュー数 12,899回

2. 企画広報事業

令和2年度立山町社会福祉協議会表彰式において、これまで福祉の推進に功績のあった個人と団体を表彰し、より多くの町民が福祉について考える機会とした。また、記念講演会を開催し、ボランティアや福祉活動に関する理解促進を図った。

立山町社会福祉協議会表彰 11月14日 元気交流ステーション 社会福祉事業功労7名・2団体
記念講演会 演題「福祉教育の視点から見た障害への理解や地域づくり」
講師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 教授 鷹西 恒 氏

3. 地域福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ふれあい型・ケアネット型）への助成、活動強化に努めた。

- ・第1回 地区社協会長・事務局長会議 6月18日 元気交流ステーション
- ・第2回 地区社協会長・事務局長会議 9月11日 "
- ・第3回 地区社協会長・事務局長会議 2月 5日 "
- ・地区社協巡回訪問（意見聴取） 2月 8日～2月24日 各地区公民館等
- ・ケアネット事業活動実績
R2年度：実施地区数 10地区 援助対象者 147名 活動参加者数 281名
訪問等活動延べ回数 11,706回
- ※R元年度：実施地区数 10地区 援助対象者 142名 活動参加者数 262名
訪問等活動延べ回数 11,033回

(2) ケアネットセンター運営事業

- ・実施地区検討会・報告会等参加 24回
- ・立山町ケアネット活動全体検討会 8月5日 元気交流ステーション
立山町内のケアネットリーダー・メンバーを対象に、ケアネット活動の現状や課題の共有、情報交換の場とし、活動の推進を図る。
テーマ：ケアネットを中心に・・・地域で福祉を
助言講師：金城大学 社会福祉学部 教授 内 慶瑞 氏 参加者37名
- ・町内居宅介護支援事業所連絡会ケース検討会出席 12回
- ・個別ケースの相談や会議への出席・開催 20回

(3) 福祉人材育成・支援事業

- ふれあい活動員（福祉協力員）を62名配置し、サロン活動やケアネット活動への実施・協力を行った。
- ・第1回ふれあい活動員委嘱式及び研修会（ボランティアサポーターとの合同研修）
6月23日 元気交流ステーション 参加者57名
講義：「地域における福祉活動の意義と役割について」
講師：富山県社協 ボランティア・地域福祉振興課 課長 水井 勤 氏
座談会：「地域における福祉活動の取り組みについて」
 - ・第2回ふれあい活動員研修会（まちづくり研修会との合同）
2月24日 元気交流ステーション 参加者42名
講義：「富山、立山の良さを再発見しよう！自分たちのまちを知り、

自分たちのまちの良さを伝える方法」

講師：富山の遊びの場 代表 金子奈央 氏

各地区のふれあいいきいきサロン運営者・協力者を対象に連絡研修会を行った。

- ・ふれあいいきいきサロンリーダー研修会

7月 1日 元気交流ステーション 参加者25名

「これからのサロン活動について考えよう！」

各地区の子育てサロン運営者・協力者を対象に連絡会を行った。

- ・子育てサロンリーダー研修会

7月10日 元気交流ステーション 参加者30名

講義：「舟橋村の子育て支援について」

講師：舟橋村役場 生活環境課 係長 広瀬美歩 氏

(4) 住民参加型地域福祉事業

- ・地区社協を中心にふれあいいきいきサロンランチを開設し、高齢者の生きがいや社会参加意欲を高めた。

ふれあいいきいきサロンランチ 令和2年度：延べ348回 参加者延べ 5,707名

※令和元年度：延べ560回 参加者延べ11,248名

- ・地区社協単位で子育てサロンを開設し、主に未就所（園）児と家族を対象に、子育て期の不安解消や情報交換など子育て支援を行った。

子育てサロン 令和2年度：延べ43回 参加者延べ 960名

※令和元年度：延べ77回 参加者延べ 2,484名

(5) 地域福祉活動計画の推進及び策定

- ・2018年度～2022年度の5ヵ年を計画期間とする第3次地域福祉活動計画の推進委員会を設置し、事業の点検・評価を行う仕組みを検討した。

令和2年度：事務局内検討会（月1回）

地域福祉活動計画推進委員会 5月28日 元気交流ステーション 参加者16名

(6) ふれあい総合相談事業の実施

弁護士等の専門相談、民生委員児童委員による心配ごと相談等の一般相談を実施した。また、事務局職員が相談援助を随時行った。町広報や社協だより「そよかぜ」に相談センターの相談日を掲載し広報に努めた。

心配ごと相談員及び職員を対象に研修会を開催した。

- ・心配ごと相談員等研修会 10月8日 元気交流ステーション 参加者15名

(行政相談員、人権擁護委員、生活支援員と合同)

講義：「相談の基本姿勢」

講師：富山大学 人間発達科学部 准教授 野田 秀孝氏

相談件数 法律相談 41件 心配ごと相談 2件 職員対応相談 33件

(7) 地域公益活動への支援

町内の法人相互間の連携及び各法人それぞれがもつサービスとの連携等により、地域への貢献活動を推進するため、立山町社会福祉法人連絡会を設立した。情報や課題を共有化し、協働による活動を

積極的に行った。

・法人連絡会及び総会の開催 3回

・福祉教育の推進（福祉教育サポーター養成講座講師）

・研修会の開催 2回

①8月27日 地区社協との合同研修 元気交流ステーション 参加者20名

講義：「感染拡大下における災害時の備え～福祉現場を支える立場からその役割を考える」

講師：NPO法人富山県防災士会 事務局長 佐伯邦夫 氏

②3月9日 立山町赤十字奉仕団との合同研修 元気交流ステーション 参加者16名

講義：先進地活動紹介「フードドライブをはじめとした

小矢部市社会福祉法人連絡会の取り組みについて」

講師：小矢部市社会福祉協議会 事務局長 深田数成 氏

4. 助成事業

社会福祉団体等5団体に活動費の助成を行った。

5. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 高齢者外出支援サービスの実施

寝たきり又は車いす使用のため一般の交通機関を利用することが困難な方を対象に、通院等の外出支援を行った。

登録者数 2名 利用延べ日数 2日 利用延べ回数 2回

6. ボランティア活動事業

(1) ボランティアコーディネーター設置事業 ボランティアセンター相談件数 445件

(2) ボランティア活性化事業

ボランティアに関する情報を社協だより「そよかぜ」の紙面や町内数か所に設置した掲示板で紹介した。また、ボランティアセンター運営委員を委嘱し、運営委員会を開催することで、事業運営の推進を図った。

(3) 調査研究事業

視察研修を予定していたが、コロナ感染拡大により中止とし、ボランティア活性化事業に組み替えた。

(4) 養成研修事業 —ボランティアリーダー研修会・ボランティア養成講座—

ボランティアリーダー等の育成や交流を目的にした研修会や講座を実施した。

第1回 ボランティアリーダー研修会 10月6日 元気交流ステーション

講義 「ボランティアを人に説明できますか」 参加者23名

講師 富山短期大学 健康福祉学科 教授（副学科長）関 好博 氏

第2回 ボランティアリーダー研修会 10月20日 元気交流ステーション

講義 「まわりのつながりを生み出すコミュニケーション」 参加者24名

講師 富山短期大学 健康福祉学科 教授（副学科長）関 好博 氏

第1回 ボランティア養成講座 11月25日 元気交流ステーション

講義 「ボランティアに活かしたい聞く力①」 参加者22名

講師 NPO法人ここらいふ 事務局長 杉田由美 氏

第2回 ボランティア養成講座 12月 2日 元気交流ステーション

講義 「ボランティアに活かしたい聞く力②」 参加者21名

講師 NPO法人こころいふ 事務局長 杉田由美 氏

(5) ボランティアサポーター設置事業

ボランティアサポーターを10名配置し地域でのボランティア活動情報の提供等を行った。また、適宜、打ち合わせ機会を設け、情報交換を行った。その他、福祉人材育成の視点から、児童向けの学習機会へ参加・協力を行った。

(11月19日 北部小学校福祉体験学習 / 12月25日 にいかわふれあい食堂防災講座)

(6) 広報啓発事業

ボランティア活動の啓発・推進を図るため、ボランティアまつりを開催した。ボランティアグループの活動紹介パネルの展示や講師による講演を行った。

令和2年度ボランティアまつり 10月17日 町元気交流ステーション 参加者約71名

講演 「夢は、叶う!!～世界の頂からみえたもの～」

講師 山賊倶楽部とやま代表・立山ガイド 佐伯知彦 氏

(7) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

推進校8校(小学校6校、中学校1校、高校1校)に活動費助成を行った。

(8) 福祉教育地域指定推進事業

「地域の課題を探してみよう」というテーマに基づき、保育関係者・教育関係者・ボランティアを対象に福祉教育推進セミナーを開催した。

(子ども向けのボランティア体験学習会は、感染症拡大の影響により中止)

・福祉教育推進セミナー

第1回 福祉教育推進セミナー 7月28日 元気交流ステーション 23名

「感染症拡大の影響による教育現場の課題や現状」

講師：NPO法人明日育 常務理事 長井 一浩 氏

第2回 福祉教育推進セミナー(報告会) 2月19日 元気交流ステーション 27名

報告：立山中央小学校 立山町ボランティアセンター

講師：富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

(9) 災害救援ボランティア活動支援事業

研修会を通して、緊急時の災害救援ボランティアセンターの役割を再認識する。

・災害救援ボランティア研修会

講義 「新型コロナウイルスの状況におけるボランティアのあり方」

9月30日 元気交流ステーション 参加者42名

講師 特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

(10) 福祉教育サポーター養成確保事業

町づくりや福祉教育の推進を図ることを目的に、福祉教育サポーターの養成研修会を開催した。また、サポーター設置検討委員会にて、養成・設置に係る意見交換を図った。

・福祉教育サポーター設置検討委員会

- 第1回 養成計画 7月15日 12名参加
- 第2回 事業報告・次年度計画 3月10日 11名参加

・福祉教育サポーター養成確保事業 (全5回 *全8回予定を縮小開催)

参加者27名中/23名修了 いずれも元気交流ステーションにて開催

- 第1回 基礎講座 9月15日 25名参加
「福祉教育の基本・町の状況」 富山県社会福祉協議会 地域福祉ボランティア振興課
課長 水井 勤 氏
立山町健康福祉課 社会福祉係係長 酒井 史穂子 氏
 - 第2回 体験講座 9月27日 23名参加
「レクカフェイベントにおける防災ミニ講座担当」
 - 第3回 講座 10月22日 21名参加
「障害者施設紹介・活動経緯や地域との関わり」 新川会 理事長 牧野 武 氏
 - 第4回 記念講演会 11月14日 23名参加
「福祉教育の視点から見た障害への理解や地域づくり」
富山福祉短期大学 社会福祉学科 教授 鷹西 恒 氏
 - 第5回 振り返り・修了書交付 12月 8日 23名参加
富山県社会福祉協議会 地域福祉ボランティア振興課 課長 水井 勤 氏
- ・啓発講座 まちづくり研修会～自分の町の良さを知る～ (第2回ふれあい活動員研修会と合同)

7. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーによる適切なケアプランの作成、介護給付費の管理

要介護1～5	月平均利用者数	138名
介護予防	月平均利用者数	19名

8. 居宅介護等事業 (ホームヘルプサービス)

(1) 要介護認定者への訪問介護	要介護1～5	月平均利用者	19名
	総合	月平均利用者	23名
(2) 障害者への訪問介護	身体障害者	月平均利用者	11名
	知的障害者	月平均利用者	23名
	精神障害者	月平均利用者	44名
(3) 自立支援サービス		月平均利用者	1名

9. 日常生活自立支援事業

もの忘れのある高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるよう、生活支援員が定期的にお宅などに

伺い支援を行った。

利用者 8名 生活支援員登録者 6名 制度利用等相談件数 14件

10. 高齢者福祉推進事業

(1) みらいぶくつろぎサロン運営事業

元気交流ステーションに集約されている保健福祉総合機能を活かした誰もが集える常設型のサロンとして、引きこもりの防止や介護予防に関する活動を取り入れたメニューの提案、健康器具等の設置などを通して、積極的な社会参加、仲間づくり、生きがいくくり、健康づくりの一助となる機会を提供した。

元気交流ステーション2階大広間 サロン開催日数108日 延べ利用者数 3,093名

(2) 福祉バスを運行し、くつろぎサロンへの送迎及び福祉団体、地区社会福祉協議会等の諸行事の送迎を行った。

運行回数 延べ 83回

利用者数 延べ 251名

11. 基金運営事業

(1) 社会福祉事業振興基金の管理、運営

(2) ボランティア基金の管理、運営

12. 共同募金配分事業

(1) ふれあいいきいきサロンランチ活性化事業

高齢者ふれあいいきいきサロン、子育てサロン等に対して講師の派遣を行った。

その他、体操DVD及びリモート講座を開催した。

・講師派遣：ハートビートライフ・オカ インストラクター他 延べ23回派遣

・DVD製作：ハートビートライフ・オカ

・子育てサロンリモート講座：ハートビートライフ・オカ（全4回）

(2) 支えあい（防災）マップづくり事業

住民同士のふれあいや支え合い活動を地図上に可視化するマップ作り及びその活用研修会を開催し、地域住民の支え合いの実績や生活上の問題を具体的に把握し、共助の仕組みを検討した。また、作成したマップの効率の良い活用を促すため、防災の視点を取り入れた。

・支えあいマップづくり巡回研修 4地区

講師：NPO法人明日育 常務理事 長井 一浩 氏

下段地区 7月4日 下段公民館 参加者26名

立山地区 7月4日 岩嶺公民館 参加者16名

利田地区 7月11日 利田公民館 参加者19名

大森地区 7月21日 大森公民館 参加者17名

・支え合いマップづくりとその活用研修会

講師：NPO法人明日育 常務理事 長井 一浩 氏

10月31日 大森公民館 参加者16名

2月27日 下段公民館 参加者13名

・まちづくり研修会～自分の町の良さを知る～(第2回ふれあい活動員研修会との合同)

(3) 社会福祉協議会だより「そよかぜ」の発行

年6回(奇数月) 全世帯配布

(4) 地域福祉・ボランティア活用啓発事業

ボランティアグループの新規パネル作成及び更新パネル作成

(5) ふれあい食堂運営事業(前こども食堂運営事業)

多世代交流促進、居場所づくりを目的に町内10地区社会福祉協議会と連携して開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テイクアウト型で開催。

・ふれあい食堂運営事業

上段地区 7月30日 日中上野公民館 27名 東谷地区 8月2日 谷口公民館 23名

下段地区 8月10日 下段公民館 16名 利田地区 8月22日 利田公民館 23名

五百石地区・町社協・レクリエーション協会 9月27日 元気交流ステーション 40名

釜ヶ淵地区 11月3日 釜ヶ淵公民館 73名 立山地区 11月3日 芦嶺公民館 約35名

大森地区 12月12日 大森公民館 25名 新川地区 12月25日 新川公民館 約25名

計 約287名(スタッフ除く)

(6) 地域歳末たすけあい助成事業

町内10地区社会福祉協議会へ助成し、歳末時期に合わせて、見守り訪問や3世代交流等の推進を図った。

1.3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等へ生活福祉資金等の貸付・相談を行った。

新規相談件数 5件 取扱件数 11件 継続相談件数 34件

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯へ貸付・相談を行った。

貸付決定件数

緊急小口資金 79件 総合支援資金 45件 総合延長 11件 総合再貸付 7件

貸付総額 4,555万円

(2) 生活困窮者自立促進支援事業

富山県東部生活自立支援センターと連携して、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対し支援を行った。

町報や社協だより「そよかぜ」に相談日を掲載し広報に努めた。

1.4. 出逢い応援事業

サポートセンター「おむすびくらぶ」を設置し、結婚相談や情報交換を通して出逢いの場を提供し、結婚への支援を行った。

・センター運営体制

推進委員16名 支援員26名(プランナー8名・アドバイザー10名・サポーター6名)

センター長1名(社協事務局長兼任) コーディネーター1名(社協職員兼務)

登録会員177名（内訳：男性111名・女性66名：3月31日現在）

※推進委員会の設置 円滑な運営と効果的な事業推進を図るために設置

立山町内で活躍する企業や団体、支援機関、学識経験者及びその他会長が必要と認めた者で組織し、立山町社会福祉協議会会長が委嘱する。

※支援員は、地域活動に参加している者で、結婚への支援及び地域の担い手育成に理解と関心を持ち、その役割遂行に支障のない者を、立山町社会福祉協議会会長が委嘱するものである。

・結婚相談日の開設

アドバイザーによる結婚相談を第4木曜日午後、第1・3土曜日午前、第1・3木曜日夜、第2・4火曜日夜に開設し、登録会員への結婚相談等に応じる。

元気交流ステーション相談室 相談件数（窓口）46件（電話）92件 マッチング10件

・成婚カップル 0組（累計6組）

・推進委員会の開催 関係機関への広報啓発及びセンターへの指導助言

第1回推進委員会 7月17日 元気交流ステーション 参加者 8名

第2回推進委員会（報告） 2月 2日 元気交流ステーション 参加者12名

・支援員研修会及び情報交換会の開催 結婚支援に対する必要な研修（婚活支援についての情報セキュリティ、コミュニケーション等）を開催し、支援員の資質向上を図り、支援員間の情報共有の場を提供

第1回全体研修会 7月17日 元気交流ステーション 参加者22名

第1回支援員情報交換会 7月17日 元気交流ステーション 参加者19名

第1回支援員研修会 10月14日 元気交流ステーション 参加者22名

第2回支援員情報交換会 10月14日 元気交流ステーション 参加者22名

第2回支援員研修会 12月15日 元気交流ステーション 参加者20名

第3回支援員情報交換会 12月15日 元気交流ステーション 参加者20名

第4回支援員情報交換会 2月24日 元気交流ステーション 参加者19名

第2回全体研修会 2月24日 元気交流ステーション 参加者19名

（まちづくり研修会と合同開催）

・事業啓発イベントの開催

啓発セミナー：ファッションセミナー 8月23日 元気交流ステーション 参加者19名

講師：パーソナルスタイリスト 峠 かおり氏

秋イベント：みらいぶアフタヌーンティーパーティ 元気交流ステーション

9月 6日 20代～30代対象 参加者19名

9月13日 30代～40代対象 参加者20名

冬イベント：おしゃべり交流会 11月28日 20代～30代対象 参加者14名